

第82回 鳥取県中央メーデー大会

すべての働く者の連帯で働くことを軸とする安心社会と
自由に平和な世界をつくらう!



『東日本大震災の早期復興』と
『働くことを軸とする安心社会』の実現に向け
連合鳥取の総力を集結してガンバロー!!

中央大会 (東部/千代川市民スポーツ広場)

第82回鳥取県メーデー大会は、5月1日(日)、県内3会場に組合員とその家族をはじめ約6千3百人が結集し開催しました。

このうち鳥取県中央メーデー大会会場の「千代川市民スポーツ広場」には、強い風の中、約2千5百人が参加し氣勢をあげました。

来賓として、藤井鳥取県副知事、森田鳥取労働局長、竹内鳥取市長、湯原衆議院議員をはじめ関係団体、推薦支持議員から多くのみなさまに出席いただきました。

冒頭、大会実行委員長の五十嵐会長があいさつで「3月11日に発生した東日本大震災で亡くなられた方々に心からご冥福をお祈りするとともに、被災されたすべてのみなさまに心からお見舞い申し上げます。加えて、福島第一原子力発電所の事故により、国民に大きな不安が生じており、政府は万全な対策を講じていることは元より、安心・安全の観点から徹底した情報公開を切望する。連合は、構成組織や地方連合会の仲間のみなさんの協力により、3月より岩手・宮城・福島の3県に対して300名体制での救援ボランティアを派遣している。鳥取県からも組合員、連合の専従者も参加している。また、連合災害救援カンパでも鳥取県をはじめ、全国の職場・街頭でのカンパ活動を実施しており、連合全体での救援カンパ金は、4月15日の段階で1億2千万円(連合鳥取集約分4

月27日現在、780、284円)を超えている。みなさまのご協力に対し厚く感謝申し上げる。」と大震災に対する取り組みと各構成組織に対するお礼を述べました。

続いて、「連合は結成20周年の区切りとして、これまでの『労働を中心とした福祉型社会』を継承・発展させ、『働くことを軸とする安心社会』という考え方を打ち出した。働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件のもと、多様な働き方を通じて社会に参加でき、社会的・経済的に自立し、相互に支えあい自己実現に挑戦できるセーフティネットが組み込まれている活力あふれる参加型の社会の事と考える。このことを実現するために、私たちは社会の不可欠なインフラとの認識に立って、地域に根ざした顔の見える運動をさらに前進させ、広く連帯の輪を拡大していくことが使命であると考えます。」と今後の労働運動のあり方を訴えました。

今回のメーデー大会は、被災地に配慮し、例年実施している賑やかなイベントは自粛し、救援カンパの実施、「つなごろうNIPPON」をキャッチフレーズとしたメーデー宣言など、東日本大震災の早期の復旧・復興をめざした内容となりました。

第82回 メーデー大会 フォトニュース

■中央会場 [鳥取市/千代川市民スポーツ広場 参加者 約2,500人]

《来賓のみなとま》



(左から) 藤井副知事・竹内鳥取市長・森田労働局長・湯原衆議院議員



宣言を読み上げる
山田さん
(私鉄総連)



参加者による
カンパ



あいさつする五十嵐会長



連合救援ボランティア報告/
田中副事務局長



メーデー川柳入賞のみなさん
最優秀賞:加藤さん(右から2番目)



ご協力ありがとうございました

イオン鳥取店にて

■中部会場 [倉吉市/天神川飛天夢広場 参加者 約1,800人]

産別・単組協力コーナーに集まる参加者



プラカードコンクール最優秀賞
「がんばろう 日本!」
/オムロンスイッチアンド
デバイス労組



参加賞の
おいしい
シュークリーム

抽選で大当たり!



今年は
震災復興の願いを込め
東北地方の物産・商品をお楽しみ抽選会の
賞品にしました。



メーデー川柳表彰

■西部会場 [米子市/JR米子駅前だんだん広場 参加者 約2,000人]

第1ステージ 「復興の輪を広げよう、
《報告会》

- ①復興支援隊が見た被災地の報告
米子市職労 毛利さん
- ②各産業界に影響を与えた大震災
…JP労組の奮闘



報告会①

報告会②
(JP労組/安田さん)



歌/ORI-ZURU
細木香織さん

被災地に届け
復興の歌声

第2ステージ
「勤労者の連帯を
築こう、



全員で黙祷



カンパ箱をもって募金をお願い



メーデー川柳

<最優秀賞>
<優秀賞>

メーデーに 被災地 復興 思い寄せ
メーデーに 祈る平和と 働く希望
働ける 仕事があって 夢もある
雇用不安 払拭出来れば 安心社会

- 加藤 亮太さん [電機連合鳥取三洋電機労働組合]
- 竹田 千恵子さん [フード連合大山乳業労働組合]
- 岸本 宏章さん [情報労連NTT労働組合退職者の会]
- 吉田 平さん [電機連合鳥取三洋電機労働組合]

第17回統一地方選挙結果

4月10日(日)、鳥取県知事・鳥取県議会議員選挙が実施されました。組合員のみならずのご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

鳥取県知事選挙

祝 当選



平井伸治
255,367票
《推薦》



上段(左から) 森岡議員 森議員 伊藤議員 国岡議員 坂野議員
下段(右から) 興治議員 五十嵐会長 福間議員 浜田議員

鳥取県議会議員選挙

※()内は推薦団体・組織

祝 当選

- 【鳥取市】坂野経三郎 (民主党) 6,943票《推薦》
- 【西伯郡】福間裕隆 (JR連合・民主党) 無投票《推薦》
- 【八頭郡】国岡智志 (民主党) 4,097票《支持》
- 【米子市】森雅幹 (自治労・民主党) 6,849票《推薦》
- 【倉吉市】興治英夫 (民主党) 6,111票《推薦》
- 【米子市】浜田妙子 (民主党) 5,408票《推薦》
- 【東伯郡】伊藤保 (自治労・民主党) 7,851票《推薦》
- 【境港市】森岡俊夫 (民主党) 無投票《推薦》

落選

- 【鳥取市】山田幸夫 (民主党) 3,426票《推薦》
- 【米子市】池田博子 (民主党) 3,852票《推薦》

※敬称略

2011春季生活闘争特集

連合鳥取2011春季生活闘争 要求・回答・妥結状況 (4/25現在)

- 調査対象 137組合 ○登録組合 96組合
- 賃金 ○要求提出組合 68組合⇒平均賃上げ方式66組合、個別賃金方式1組合、人勤準拠1組合
- 回答妥結組合 43組合⇒平均賃上げ方式42組合、個別賃金方式1組合
- 平均賃上げ方式(ペアのみ登録組合)

平均賃上げ方式	要求		回答・妥結	
	組合数	金額(円)	組合数	金額(円)
組合平均	3	833	2	0

平均賃上げ方式(体系維持相当分+ペア登録組合)							
平均賃上げ方式(組合平均)	要求	組合数	金額(円)	回答・妥結			
				集計組合数	率(%)	集計組合数	
要求	従業員	計	63	5,639	54	2.50	45
	300人以上		32	6,282	28	2.57	23
	299~100人		13	4,917	12	2.33	11
	99人以下		18	4,973	14	2.52	11
回答・妥結	従業員	計	40	3,999	38	1.66	31
	300人以上		26	4,631	25	1.85	19
	299~100人		8	3,043	8	1.49	7
	99人以下		6	2,371	5	1.18	5

- 一時金 ○要求提出組合 年間34組合 夏季14組合
- 回答妥結組合 年間24組合 夏季9組合

一時金(組合平均)		要求				回答・妥結				
		金額(円)	集計組合数	月数	集計組合数	金額(円)	集計組合数	月数	集計組合数	
年間	従業員	計	1,110,096	17	4.55	31	1,045,522	15	4.25	16
	300人以上		1,323,887	8	4.55	21	1,177,515	10	4.51	11
	299~100人		882,862	5	4.52	6	905,200	2	4.37	2
	99人以下		966,554	4	4.55	4	699,093	3	3.23	3
夏季	従業員	計	438,868	9	2.01	11	361,671	6	1.42	6
	300人以上		650,000	2			415,500	2		
	299~100人		453,897	5	1.94	7	334,757	4	1.42	6
	99人以下		190,165	2	2.13	4				

- 業績連動式⇒3組合(年間分:2組合、半期分:1組合)
- 地域ミニマム賃金 ○要求提出2組合 水準目標をクリアしていないが要求せず5組合
- 回答・妥結 水準目標をクリアした1組合 現状維持1組合

- 連合鳥取重点取り組み課題 ○要求書提出 提出86組合 提出せず労使協議2組合 何もせず7組合 人勤準拠1組合

取り組み項目	取り組みレベル	組合数	回答・妥結	組合数	取り組み項目	取り組みレベル	組合数	回答・妥結	組合数
非正規労働者への取り組み	○処遇改善	15組合	○処遇改善	8組合	総実労働時間短縮				
	○その他の取り組み	12組合	○その他の改善	8組合	時間外労働削減	○取り組み	13組合		
企業内最低賃金	○取り組み	18組合	○水準引上げ	9組合	年休の取得促進	○取り組み	10組合		
	*対象者パート等含む全従業員	(6)	パート等含む全従業員	(6)	年休付与日数増	○取り組み	3組合	○付与日数増日	1組合
水準引き上げ	組合員のみ	(7)	組合員のみ	(3)	所定労働時間短縮	○取り組み	9組合		
	協定化	○取り組み	13組合	○協定化	5組合	時間外割増率引上	○取り組み	16組合	○割増率引上げ
協定化	*対象者パート等含む全従業員	(2)	パート等含む全従業員		65歳まで雇用確保			○制度導入	1組合
	組合員のみ	(8)	組合員のみ	(4)	制度導入	○取り組み	8組合	○春闘とは別途、継続協議	1組合
					組合員化	○取り組み	1組合		

特集 東日本大震災ボランティア

連合は、3月11日の大震災から20日経過した3月31日から毎週総勢300人の救援ボランティアを甚大な被害を受けた岩手・宮城・福島県の3県に派遣しています。

私は、被災されたみなさんのために「働きたい」「お役に立ちたい」という気持ちを胸に、第3陣となる4月16日から23日までの8日間、福島原発から南に約40kmに位置する「福島県・いわき市」に行ってきました。

私が担当した地区は、地震発生から30分後に8mの津波が押し寄せ、全壊した家や床上まで浸水した家など目を疑うような光景ばかりで思わず涙しました。また、地区の公民館で被災されたみなさんが不自由な避難生活を送られており、そのご苦労に心が痛みました。

そこでの主な任務はガレキや土砂の撤去作業で、普段経験しない肉体労働のせいか非常にハードに感じました。しかし、住民のみなさんから「ありがとうございます」という感謝のお言葉をいただき励みにもなりました。このときほど「人に喜んでもらうことをすることは、自分にとって幸せなことである」と実感したことはありませんでした。

あまりにも大規模な災害を目の当たりにし、自らの活動の1時間、1日がどれほどお役にたてるか考えさせられることもありましたが、被災の「つらさ」「悲しさ」「厳しさ」その思いを共有しながら、現地で汗を流すことが被災された皆さんに勇気と希望を与え、生活再建と地域の復興に必ずやつながると確信しました。

ボランティア活動は当面9月まで続きます。組織的・継続的に人を派遣できるのが連合の強みであり、これからも全力投球する必要があります。それぞれの構成組織からボランティアへの呼びかけを強めていただき、「つながろうNIPPON」を合言葉に、今こそ連合の底力を発揮し、被災地・被災者への連帯の心を私たちの行動で示すことが重要だと思います。

「東日本大震災の復旧・復興」そして「希望と安心社会」を実現するために、連合680万人の英知を結集してがんばりましょう。

(寄稿 連合鳥取 副事務局長 田中 穂)



産別・単組 活動紹介

◆ JR連合 ◆

JR連合はJR及びJR関連企業で働く仲間が結集する産業別組合であり、JR連合鳥取県協議会は4単組、1,417名で構成しています。

JR連合は、2003年6月に21世紀鉄道ビジョン「持続可能な交通を目指して」を提言して以降、労働組合の視点から地域交通体系の整備について取り組みを強化しています。

したがって、JR西労組米子地方本部も労働組合が主体的に沿線自治体を訪問し、行政と会社に政策提言を行い、地域住民の足としての交通、その利便性を高めるための具現化に取り組みを進めています。10月には県議会をはじめとして12市町村議会に「交通基本法制定に向けた意見書採択」を取り組み、12議会で意見書採択、1議会継続審議という結果となりました。引き続き「交通基本法制定」に向けた取り組みを展開します。

また、部内的には、次世代への「継承」をキーワードに「ユニオンスクール」を年間5回開催し、後継者育成に努めています。



2011.4.16第55期ユニオンスクール
「青年女性委員会 支部・分会役員コース」

てんじんころも

「強くなければ生きていけない、愛がなければ生きていく価値は無い」。近年の様々な事象を見るに付け思い出すフレーズである▼日本は、経済大国として世界の中でも強い国に挙げられるが、輸出で潤い、多くの輸入品が私たちの生活の中に溶け込んでいる。まさに日本は世界の人々の協力があって成り立っているのである▼そして、東日本を襲った大地震は未曾有の被害をもたらしたが、被災地・被災者への支援の輪が国内のみならず、海外にも拡がっている。大変ありがたいことだ▼一方、急増した非正規労働者の社会問題化を踏まえ、連合が春季生活闘争で「すべての労働者の処遇改善」を掲げて今闘争が2年目の取り組みとなっているが、実態はまだまだ緒に就いたばかりで、さらなる運動の拡がりが必要とされる▼日本だけが、正社員だけが、どんなに力強く生きている人でも、他人の協力なしでは成し得ていないはずだ。支えあって社会は成り立っていることを、改めて肝に銘ずる。(光)

